

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、研究機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	くも膜下出血症例における退院先への影響因子
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：川原 範夫
研究責任者	金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 山田 恵美加
研究参加拒否 申込受付期間	2024年12月31日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2025 年 03 月 31 日
対象者	2011年4月から2024年3月までの間に、くも膜下出血で入院されリハビリテーション治療を受けられた方
当該研究の意義・目的	今回の研究は、急性期くも膜下出血において、自宅退院できた患者と転院が必要であった患者を比較してその要因を検討することです。 リハビリの初回介入時にある程度のADLの予後予測を行えるため効率的な介入やスムーズなサービス調整もしくは転院調整が行えます。
方法および研究で 利用する試料・情報 の取得方法	本研究は、電子カルテの診療録から入院時の病状や身体機能、退院先などの情報を収集し、得られたデータから入院時の状態から退院先が自宅になるのか転院となるのかを解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。診療録により、上記期間中に得られた情報を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 情報：入院時の意識状態、出血量、リハビリ開始時の身体機能と認知機能、合併症の有無、退院先、カルテ番号 等 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後5年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情報 の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研究 対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります。今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。

る旨について	
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 山田 恵美加 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（25291）

作成日： 2024年09月26日